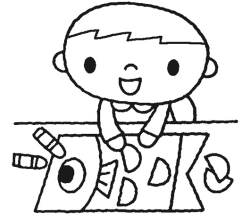




5月の園だより



今月の予定

平成 30年 5月 1日

さかえ保育園

1日(火)	三色群の話、食事マナー指導(すみれ)
2日(水)	体操教室
3日(木・祝)	
4日(金・祝)	
5日(土・祝)	
6日(日)	
7日(月)	空豆のさや出し(れんげ)
8日(火)	誕生会 季節の食材紹介(幼児)
9日(水)	体操教室
10日(木)	幼児遠足
11日(金)	包丁練習(ゆり)
12日(土)	
13日(日)	
14日(月)	粘土おにぎり練習(すみれ) 三色群の話(ゆり)
15日(火)	英語教室(ゆり) 季節の食材紹介(乳児) ラップおにぎり作り(幼児)
16日(水)	体操教室 空豆のさや出し(たんぽぽ)
17日(木)	ポニー教室 乳児健診
18日(金)	食事マナー指導・箸練習(ゆり)
19日(土)	
20日(日)	
21日(月)	空豆のさや出し(すみれ)
22日(火)	食事マナー指導(れんげ)
23日(水)	体操教室
24日(木)	季節の食材紹介(乳児)
25日(金)	
26日(土)	
27日(日)	
28日(月)	グリンピースのさや出し(ゆり)
29日(火)	英語教室(ゆり) ラップおにぎり作り(幼児)
30日(水)	体操教室
31日(木)	包丁練習(ゆり)

☆今月の誕生児☆



薫風爽やかな季節となりました。新入園児の子ども達も慣れ保育が完了し徐々に保育園での生活に慣れてきているようです。また、一つずつ大きなクラスに進級した子ども達も自分たちが新しいクラスになったということ意識して生活できているようです。

しかしながら、今年の4月の天候は、子ども達のみならず大人の体調にも影響を与えるほど異常気象でした。この春先、突然暖かくなったり、平年並みとはいえ気温が下がり、温度差が激しく身にこたえる毎日でした。例年になく体調を崩す子どもが多かったように感じます。健康に留意しましょうとはいえ、なかなか対応しきれない様子が大人にも園の子ども達にも見られます。さらに、厚生労働省も警戒宣言を発布するほどに「はしか」の脅威もあります。また、気温の急上昇で熱中症を発症した方が4月第三週に300人を超えたそうです。些か小さな子どもがご家庭にいるお宅は考えざるをえないですね。

ゴールデンウィークにご予定もあるかと思いますが、麻疹の予防接種を二回受けている方は抗体がしっかり出来上がっているので心配はないということです。WHOで二回接種が勧行されるようになったのは27歳未満の方まで。それ以上の方は1回、私ぐらいの年代の方は強制的な接種はなかったようです。気になる方は病院で一度抗体検査を試みることをお勧めします。お子さん達に感染させたくないことはもとよりお父様、お母様もうつされない準備が必要です。厚生労働省、東京都福祉局ともにゴールデンウィーク後の「はしか」の感染拡大を警戒しています。なるべく、最大限の努力をもって人混みは避けるようにしてください。無理な時はせめてマスク着用をするようにして下さい。

-園長-



食事マナーについて

食事は必要な栄養素を摂取するだけでなく、楽しくおいしく食べる必要があります。おいしく食べるためには、正しいマナーを身に付けることもとても大切なことです。

☆基本的な食事マナー

- ・「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする。
- ・正しい姿勢で食べる。(×足を広げる ×背中が曲がっている ×テーブルに肘を付ける)
- ・正しい食べ方で食べる。(×ぼっかり食べ→三角食べ ×口にもものが入っている時に喋る ×お皿を持たないで食べる)

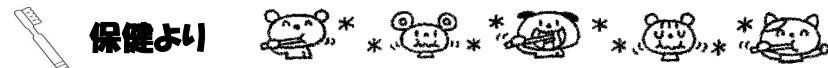
また、箸を使って食べるマナーはいつから教えていくのか。

それにはまずスプーンやフォークを下手持ちで正しく持つことが大切です。

さかえ保育園ではれんげ組から箸練習を行い、まず1本持ちから始めて徐々に2本持ちにしていきます。

食事マナーは、大人が見本となり正しいマナーを教えていくことが大切です。

園とご家庭とで連携をとりながら行っていきましょう。



<鼻水が長引くのは病気のサイン!?!>

鼻は呼吸や病気の予防に役割を果たす大切な気管。気になる症状があったら耳鼻科を受診しましょう。

- ・鼻詰まりがあり、しきりに耳を触る→急性中耳炎の疑い
- ・かぜをひいていないのに、しょっちゅう鼻が詰まったり、鼻水が出たりしている→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などの疑い
- ・いつも目やにや鼻水が出ている→鼻涙管閉塞や結膜炎の疑い

<あせもってどんな病気?>

赤ちゃん、子どもは新陳代謝が盛んで汗をたくさんかきます。かいた汗をそのままにしておくと汗が出る穴がつまり、発疹ができます。あせもになりやすいところ

1位 おしり・腰→おむつをはいていると、特に腰のギャザーの辺りが多い。

2位 顔・くび→汗をかいてたまりやすい場所。

3位 背中→ねんねのころは特に多い。

汗をかいたらこまめにシャワーを浴び、着替えをする、暑いからといって裸に近い恰好をさせるより、薄手の100%素材の肌着を着させた方が汗を吸収します。

掻きは早めを受診をしましょう。抗生剤のはいった軟膏などを処方されることがあります。また、掻きむしらない様に爪を短く切ることも大切です。